

保健だより



平成28年12月17日

12 R

日出学園中学校・高等学校 No.1 5C

今年最後の月も残りわずかです。2016年はどのような年でしたか？オリンピックに感動し、4年後の東京オリンピックに関わりたい・活躍したいと思った人、北海道新幹線が開通し、色々な所へ旅行してみたいと思った人、一人ひとり思うことは違うのではないでしょうか。冬休みが明ければ2017年。今年1年を振り返ってみると、来年の目標や夢がみえてくるかもしれません。冬休みを有効に過ごして、3学期に元気良く登校しましょう。

日に日に寒くなり、空気も乾燥してきています。これからは風邪やインフルエンザ・感染性胃腸炎などに注意が必要です。日出学園でも体調不良者が増えていますので、12/7(水)に配布した感染症特大号を参考にし、予防に努めましょう。

冬休みを 健康で安全に 過ごすための約束

気温も低く空気も乾燥する冬は、カゼやインフルエンザが流行る季節です。特に冬休みは年末年始のお祝いムードから、つい気も緩みかがむこともあります。そんな時期こそ、いつも以上に健康管理を意識した生活が大切。以下の点に注意して、楽しい冬休みを過ごせるといいでね!



冬の肌のトラブル

気温が低く、空気が乾燥している冬は、肌のバリア機能が低下したり、血行が悪くなったりするため、以下のようなトラブルが出やすくなります。

- 乾燥肌：白く粉をふいたようになつたり、かゆみが出来たりする。
 - あかぎれ：皮膚の深くまで亀裂があり、内部が赤く見えたり、出血したりする。
 - しもやけ：赤く腫れ、痛くなったりかゆくなったりする。

キレイな手を
見指して

- * 手荒れの原因を見つけよう
- * 自分の肌に合った石けんを選ぼう
- * ハンドクリームなどでケアしよう
- * 手荒れがひどい場合は皮膚科へ



みなさん、ハンカチやタオルを
学校へ持ってきていますか？

保健室を利用する生徒にハンカチやタオルを学校へ持ってきているか聞くと“持っていない”と答える生徒が多くいます。これからは時季は手洗いする回数も増えると思いますので、清潔なハンカチやタオルを毎日持ってきてましょう！

寒ノ冬

健康的に体温を上げよう!

通常、健康な人では体温は36~37℃に保たれていますが、35℃台やそれ以下のいわゆる「低体温」と呼ばれる人も増えているようです。低体温になると、血行や代謝が悪くなり、免疫力も低下して病気にかかりやすくなってしまいます。低体温の原因としては、運動不足や栄養の偏りのほか、冷たいものをとりすぎたり、湯船に入らずシャワーだけで済ますなどの生活習慣に関わるものが多く挙げられています。自分の平熱を測ってみて低体温気味の人には、まずは生活習慣を整えることから始めましょう。



～ カイロによるやけどに注意 ～

寒い季節に活躍する貼るカイロ。温かくて心地よい温度なので油断しがちですが、そのくらいの温度でも正しく使わないとやけどをすることがあります。これを「低温やけど」といいます。使い捨てカイロを使うときは、次のことに注意するようしましょう。



ガンバシ夢騎士!

6年生へ

勉強の合間に、ちょっとだけ気分転換したいときに試してみてください。



強中は緊張やストレスから自律神経がち。腹式呼吸は自律神経を整で、リラックス効果があります。膨らむのを意識
ゆっくりと息を
、同じ速度で吐
しましょう。



るには酸素が必要。しかし、勢でいると、酸素を運ぶ血になってしまいます。首肩周



リラックス効果のあるハーブティー
すすめです。効果が強いものもある
飲み過ぎは良くないですが、好みの
を見つけて、
手に取り入
ると良いで